

2026年4月1日
住友生命保険相互会社

2026年度 新入職員向け社長あいさつ（要旨）

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、本日392名（総合キャリア職員107名、ビジネスキャリア職員89名、総合営業職員196名）の新入職員を迎えました。以下に社長あいさつの要旨を紹介します。

■住友生命の歴史～住友グループの事業精神の価値、ウェルビーイングの価値提供～

住友生命は1907年創業の日之出生命をルーツとし、1926年に「住友生命」として新たな出発を果たした。2026年は社名変更から100周年という大きな節目の年である。

これまでの歩みは常に順風満帆だったわけではない。戦後の混乱やブランドの喪失といった困難を乗り越えながら、お客さまの「生命」に寄り添い続けるという使命のもと、一歩先行く挑戦を重ね、成長してきた。

住友生命のこれまでの成長を実現できた根底には、住友の事業精神、そして、住友生命のパーパスがある。経営における最も大事な考えを明文化した「経営の要旨」の第1条では、「社会公共の福祉に貢献する」という不変の存在意義を掲げている。

また、第3条にある「進取不屈」の言葉には、前例や常識に囚われない柔軟な発想で、常に新しいことに挑戦する、そして自ら変わっていくという想いが込められている。

■「ウェルビーイングに貢献する『なくてはならない保険会社グループ』の実現」に向け～「スミセイ WX」で新たな体験を提供し、ウェルビーイングの価値を革新～

住友生命は、「ウェルビーイングに貢献する『なくてはならない保険会社グループ』」の実現を目指している。

相互会社として契約者を第一のステークホルダーとし、長期にわたり人生に寄り添う中で、「契約者利益の最大化」を追求してきた。その中で、従来の保険の概念を超えて、「一人ひとりのよりよく生きる＝ウェルビーイング」という価値を提供し、人生を支えるインフラを提供する会社になっていきたい。

この実現に向けた中核が、「スミセイ WX(ウェルビーイング・トランスフォーメーション)」であり、顧客体験価値の革新とさらなる価値提供の拡大に向けて取組みを進めている。

新入職員の皆さんには、スミセイ WXの担い手としての活躍を大いに期待している。

■スミセイ人として意識してほしいこと

住友生命の一員、スミセイ人として意識してほしいことを2つお伝えしたい。

一つは、社会からの「信用・信頼」が、すべての事業活動の根本であるということ。『経営の要旨』にある「信用を重んじ確実を旨とする」という言葉のとおり、一人ひとりの行動が会社の信用に直結することを強く意識してほしい。

もう一つは、自分の未来像を掲げ、それに向かってチャレンジすること。自分の「理想の姿」を掲げ、「変化を恐れず、常に挑戦する」姿勢を持ち、未来を切り拓く力を培うことで、一人ひとりのキャリア・ウェルビーイングを実現してほしい。